

# ドクトル伊田の「は」は口ほどに：



## 「眼科検診のその後」

次回に視神経から網膜に拡がる血管と網膜全体の色調や形態をみま

No.30

今回は、人間ドックや健康事業で眼科検診を指示され受診した後、本格的に眼科通院治療が始まるのか、或いは経過観察でよいのか、それぞれについて考えてみます。

橙色になります。

血液の循環が悪いと網膜や神経は腫れて白っぽくなり、血管の形が変化します。

視力や眼圧測定はすぐに行える検査ですが、左右の目で差がないか、数値に変化がないかに注意します。

眼底写真の判定で医療機関を要受診になった場合、再度撮影を行います。白内障があるや鮮明な写真が撮れません。写真が判読できれば視神経や網膜血管の状態を確認します。

視神経は中央が陥凹しており、色調や陥凹の大きさに左右差がないか比べます。

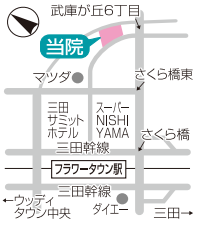
視力や眼圧は、受診日に

よくない結果であれば、日を代えて何度か検査します。基本的には数ヶ月以内の再検査です。

白内障や緑内障は病気の進行が緩やかで、経過観察可能ですが、視力や両眼視検査の結果が悪化している、視神経の陥凹が大きく視神経が減っていれば、点眼薬で通院治療を開始します。

網膜血管に病気を起こしやすい糖尿病や高血圧、高脂血症は、まず内科治療が優先です。眼科は経過観察ですが、状況が改善されず網膜症が発生した場合、合併症として眼科でも通院治療が必要となります。

通院治療でも経過観察でも眼科を受診した時には、自分が何の病気で、いま何が一番必要なのか、毎回必ず医師に確認してください。(院長・伊田 宜史)



- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

## 伊田眼科クリニック



診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30							
12:30	○	○	○	○	○		
15:30	○	手術					
18:30							

【休診日】木・土曜午後  
日曜、祝日  
TEL 079-556-8600